

# 創徳中学校通信



せ い と し つ も ん し

# 生徒質問紙から

「全国学力調査」とともに実施された「生徒質問紙」の結果（一部）を掲載します。

○挑戦心, 達成感, 規範意識, 自己有用感など	肯定的回答	全国比
①先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	94.4%	7.1
②先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	93.8%	4.9
③いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	94.3%	-1.2
④人の役に立つ人間になりたいと思いますか	90.3%	-4.3
⑤友達関係に満足していますか	90.7%	2.0
⑥将来の夢や目標を持っていますか。	59.4%	-6.9
⑦困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	74.3%	7.9
⑧自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	78.5%	0.9

○学習習慣, 学習環境など	肯定的回答	全国比
⑨家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)	57.9%	2.9
⑩学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。 ※1時間以上と回答	56.5%	-9.3
⑪土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 ※1時間以上と回答	45.0%	-20.3
⑫学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか。	58.5%	3.0
⑬学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。 ※30分以上と回答	15.4%	-13.0
⑭あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。(一般の雑誌、新聞、教科書は除く) ※0~10冊と回答	29.2%	-14.0
⑮新聞は読んでいますか。 ※ほとんど、または、全く読まないと回答	73.3%	-6.1
⑯読書は好きですか。	58.0%	-8.0

○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	肯定的回答	全国比
⑰授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	47.1%	-15.0
⑱授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	78.5%	-0.7
⑲授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	75.4%	6.3
⑳学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	74.8%	-4.9
㉑学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	78.0%	8.8



# ぶんせき 【分析】



本校では子どもたちの良さを認める承認活動やカウンセリングマインドで生徒対応に努めていることが質問①(全国平均+7.1), 質問⑦(全国平均+7.9)の数値に表れていると考えられます。このような取組は自己肯定感や自己有用感を高める効果があります。しかし, 自己肯定感や自己有用感が高いと⑥の「将来の夢や目標を持っていますか」の結果へプラスに反映するものですが, 結果を見ると全国平均から6.9ポイントも下回っています。

これについては, 質問⑩⑪⑬⑭(家庭学習への取組など)の数値が全国平均より大きく下回っていることから, 学力への不安が進路への不安につながり, 質問⑥の数値を下げていると考えられます。また, 別の見方もあります。夢や目標が見いだせないことが学習意欲にマイナスの影響を与えているとも言えます。前者が理由ならば学校においては「全国学力調査」の分析などを通して本校生徒の弱み(質問⑰ 文章や資料・データを読み解く力, 表現する力)を克服すべく, 更なる授業改善が必要です。後者ならば, キャリア教育の充実や子どもに関わる大人一人ひとりが自分自身の生き方や社会など, 子どもを取り巻く状況に目を向け, アプローチする必要性を感じます。



## じゅぎょうかいぜん とりくみ 授業改善の取組について



11月15日(水)5限目に第2回公開授業を行いました。これは, 本校生徒の学力課題(文章や資料・データを読み解く力, 表現する力)の改善に向けての取組が授業に生かされているかを他校の先生, 教育委員会, 本校教員に授業を公開し, 指導・助言をいただく研修会です。

この公開授業に至るまでに, 授業公開週間を設け集中的に先生方が授業を見せ合い参考にするべき点や改善すべき点を出し合ったり, 毎週設定されている教科部会で協議を重ねたり, 校内研修での学びなどを通してブラッシュアップを図ってきました。今後もこの歩みを止めることなく授業力アップに努めていきたいと思っております。

